

# **inet** 株式会社 アイネット

## 株式会社 アイネット

2024 年 3 月期決算説明会

2024 年 5 月 16 日

## イベント概要

---

[企業名] 株式会社アイネット

[企業 ID] 9600

[イベント言語] JPN

[イベント種類] 決算説明会

[イベント名] 2024 年 3 月期決算説明会

[決算期] 2024 年 3 月期 通期

[日程] 2024 年 5 月 16 日

[ページ数] 27

[時間] 16:00 – 16:25  
(合計：25 分、登壇：23 分、質疑応答：2 分)

[開催場所] インターネット配信

[会場面積]

[出席人数]

[登壇者] 2 名  
代表取締役 兼 社長執行役員 佐伯 友道 (以下、佐伯)  
代表取締役 兼 専務執行役員 内田 直克 (以下、内田)

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 登壇

---

**司会**：本日はお忙しい中、株式会社アイネット 2024 年 3 月期決算説明会、ライブ配信にご参加いただき誠にありがとうございます。早速、決算説明会を開始いたします。

まず初めに、本日の出席者をご紹介します。株式会社アイネット代表取締役兼社長執行役員、佐伯でございます。

**佐伯**：佐伯でございます。

**司会**：代表取締役兼専務執行役員、内田でございます。

**内田**：内田でございます。

**司会**：続きまして、本日の流れをご説明いたします。まず初めに、佐伯、内田より、決算説明をさせていただきます。その後、質疑応答のお時間とさせていただきます。

質疑応答につきましては、Zoom アプリの Q&A 機能に決算説明会開催の間、質問を受け付けております。Zoom アプリ画面上の Q&A ボタンを押していただくと、質問のための画面が表示されます。ご質問のある方は、会社名、お名前、質問事項をご入力いただき、送信ボタンを押してください。

なお、本日はお時間の都合上、全ての質問に回答しかねる場合がございます。あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

それではお時間となりましたので、始めさせていただきます。佐伯社長、お願いいたします。

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





## 2024年3月期 決算説明資料

株式会社アイネット  
[東証プライム市場：9600]  
2024年5月16日

©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

**佐伯**：改めまして、アイネット社長の佐伯でございます。当社決算説明会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。本日はオンラインにて開催をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、2024年3月期決算に関するご説明を始めさせていただきます。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasiasia.com



## 目次



サマリー	業績サマリー	P.3	事業戦略	プラットフォーム戦略	P.16
	四半期業績サマリー	P.4		「3本の矢」の推進	P.17
	連結貸借対照表サマリー	P.5		「第3データセンター」新設に向けて	P.18
	連結キャッシュフローサマリー	P.6			
サービス別	情報処理サービス	P.7	参考) トピックス	P.19-20	
	システム開発サービス	P.8	参考) ESG/SDGs経営	P.21-23	
	サービス別売上高の推移	P.9	参考) 当社の概要	P.24-31	
株主還元・ 業績予想	2025年3月期業績予想	P.10			
	株主還元	P.11			
2024年 3月期計数	業績	P.12			
	四半期業績	P.13			
	通期サービス別業績	P.14			
	四半期サービス区分別売上高の推移	P.15			

2

本日の説明内容でございます。

最初に、2024年3月期の業績の概要をご説明いたします。そのあとで、事業を統括しております専務の内田より、財務状況、サービス別の状況についてご説明いたします。

それではまず、業績のサマリーです。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



4

## 業績サマリー



©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

注) 金額は百万円未満の切捨て、前期比増減率は小数第2位まで四捨五入。

3

売上高は前期比増収、前期に引き継ぎ、過去最高を達成

- 情報処理サービスは、クラウドサービスが伸長、SSI向け受託計算も順調に推移、メーリングサービス復調。
- システム開発サービスは、主に金融業向け開発が好調、宇宙関連は打上遅延に伴い、想定以下で推移。

営業利益は前期比大幅な増益、過去最高、採算改善と原価低減によるもの

- 売上総利益が改善、電気料金高騰による原価高が続いているものの、価格見直しと原価抑制が奏効。但し、システム開発で遅延があり、想定以上には伸びず。
- 収益性が改善した結果、営業利益は、人件費などの販管費の増加を吸収し、大幅な増益を達成することができた。

当期純利益は有価証券売却益も加わりの増益

- 当期純利益は、期初予想を上振れて、前期比+63.6%の大幅増を達成。
- 投資有価証券売却益により2億円程度押し上げ効果あり。
- ROE（自己資本利益率）は11.7%と前期比+4ポイントの大幅に改善。

まずは2024年3月期業績サマリーです。数字はご覧の通り、売上高377億6,300万円、前期比7.9%増。営業利益28億8,700万円、前期比35.6%増。親会社株主に帰属する当期純利益21億9,700万円、前期比63.6%増となりました。

売上高、営業利益ともに過去最高を更新いたしました。

売上が伸びた要因について、ご説明いたします。

情報処理サービスはクラウドサービスが好調であり、ガソリンスタンドなどのエネルギー産業向けのサービスも順調に推移しました。また、過去業績が厳しかったメーリングサービスも復調しており、増収に転じております。

システム開発サービスは、得意分野である金融や流通業向け開発案件が増加しており、順調に推移しております。

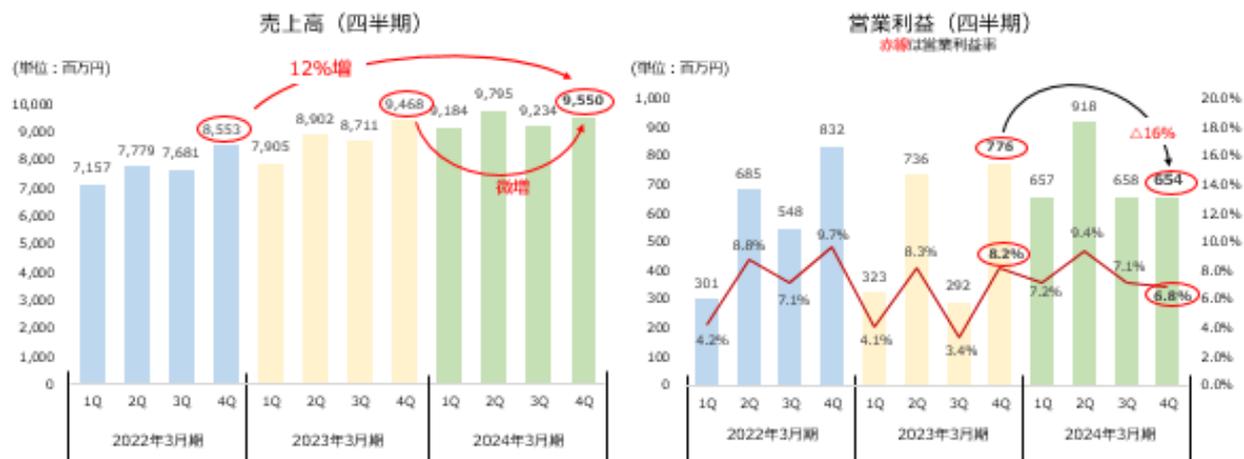
営業利益も前期比で大幅に増加いたしました。

前期は電気料金の高騰などにより利益が伸びませんでした。当期は原価の見直しと、サービス価格の改定により利益を確保することができました。結果として、親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券の売却益も加わり、過去最高となる22億円に達しております。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 四半期業績サマリー



**2024年3月期第4四半期：四半期ペースの売上高は横ばい、営業利益は前年同期比マイナス**

- 情報処理サービスは、収益性が改善し、当四半期も順調に推移することができた。
- システム開発サービスは、金融系などを中心に引き続き好調に推移している。但し、システム開発案件で遅延したものがあ  
り、利益は伸びず、四半期単体でみると営業利益は前年同期比でマイナス、利益率も低下した。

(注) 金額は百万円未満は四捨五入、前年比増減率は小数第二位まで表示。

©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

4

次に、2024年3月期の四半期毎の業績をご説明いたします。

比較のため、前々期、前期と並べてお示ししております。

当期は第3四半期まで順調に推移しました。第4四半期は、売上高については前年同期比並みを維持することができましたが、利益は伸び悩みました。要因は一部システム開発案件が遅延したためです。期末に引当処理をしたため、第4四半期の利益に影響を与えました。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



# 連結貸借対照表サマリー



2023年3月末

単位：百万円

総資産32,630、自己資本比率53.9%

<b>流動資産</b> 10,246 現預金2,310 売掛金6,035	<b>総負債</b> 15,048 流動9,294 固定5,753 有利子負債 短期3,138 長期5,367
<b>固定資産</b> 22,384 建物構築物10,362 土地2,966 無形固定資産2,093 投資有価証券3,568	<b>純資産</b> 17,582

2024年3月末

単位：百万円

総資産37,807、自己資本比率53.4%

<b>流動資産</b> 12,813 (前期末比：2,567) 現預金5,279 売掛金5,739	<b>総負債</b> 17,510 (前期末比：2,461) 流動12,045 固定5,465 有利子負債 短期2,818 長期4,804
<b>固定資産</b> 24,793 (前期末比：2,409) 建物構築物10,609 土地2,954 無形固定資産2,233 投資有価証券4,854	<b>純資産</b> 20,097 (前期末比：2,515)

©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

(注) 金額は百万円未満の切捨て、自己資本比率は小数第2位で四捨五入。

5

ここからは専務執行役員の内田がご説明いたします。

**内田**：内田でございます。それでは、連結貸借対照表についてご説明いたします。

2024年3月末の総資産残高は376億700万円となり、前期比で49億7,700万円増加しました。総資産が増加した要因は、主に投資有価証券が13億円、現預金が30億円、それぞれ増加したことによるものです。

株式市場が順調であったため、投資有価証券の評価額が膨らんだこと、および業績好調で、営業キャッシュフローが潤沢となったため、期末の現預金残高も膨らみました。

## サポート

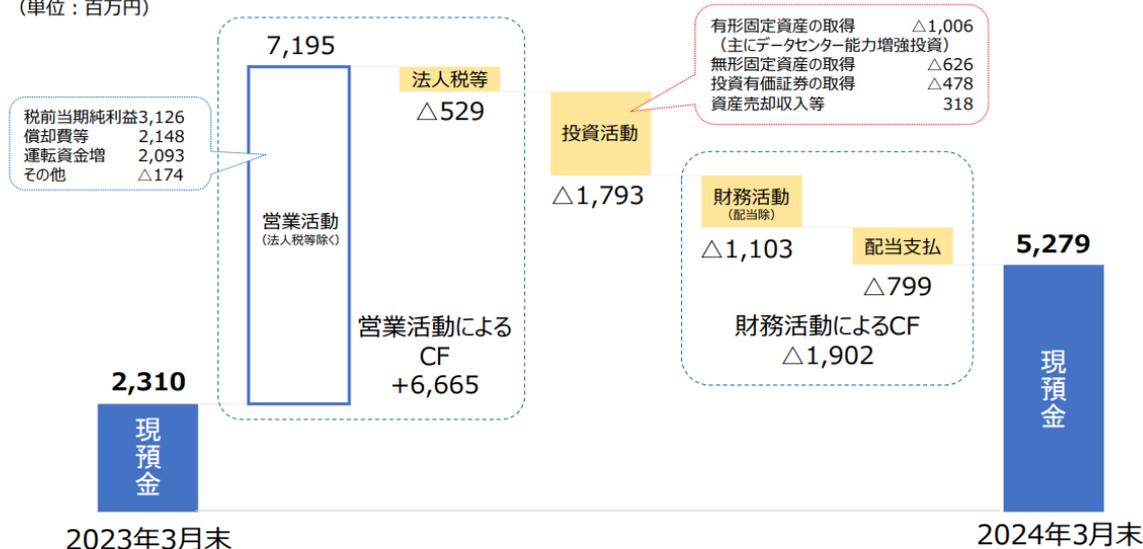
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



# 連結キャッシュフローサマリー



(単位：百万円)



注) 現預金残高は金額は百万円未満切り捨て、内訳は原則小数点以下四捨五入。

©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

6

次に、連結キャッシュフローについてご説明いたします。

2024年3月期は営業活動で得たキャッシュフローが66億円に達しました。業績が好調であったことによるものです。設備投資が一巡したこともあり、結果としまして、期末の現預金が53億円まで積み上がっております。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 情報処理サービス

### データセンター・クラウドサービス

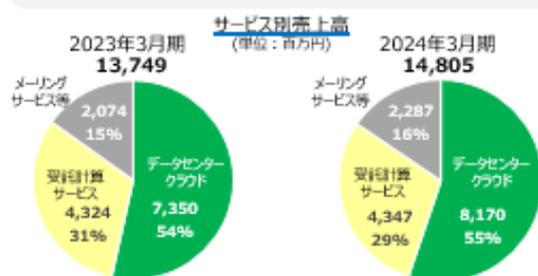
- ✓ 自社クラウドサービス
- ✓ 法人(SaaSなど)向けクラウドサービス
- ✓ 法人向けコロケーションサービス

### 受託計算サービス

- ✓ SS (ガソリンスタンド) 向け販売管理・課金決済プラットフォーム (日本国内シェア約3割)
- ✓ プロパンガス業者向けスマートメーター対応の課金決済プラットフォーム (ブランド名「プロパネット」)

### メーリングサービス

- ✓ 一般法人、行政機関向け印刷・郵送サービス
- ✓ 印刷物とメールのハイブリット配信サービス



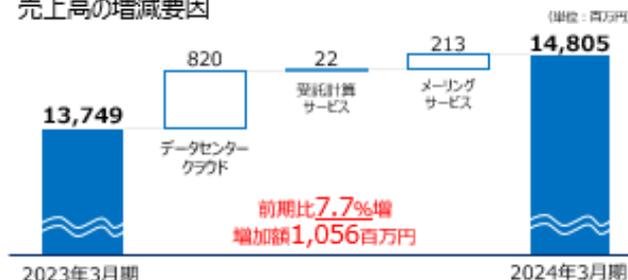
©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

(注) 売上高・売上総利益・増収効果は、金額は百万円未満の切捨て、増収効果は増収率に、小数第二位で四捨五入、合計と各訳、増収効果が一致しないことがあります。

7

inet

### 売上高の増減要因



### 売上総利益の増減要因



サービス別の状況についてご説明いたします。

まずは情報処理サービスの当連結累計期間の売上高と売上総利益の構成、そしてその増減要因についてご説明いたします。

情報収集サービスは、データセンター・クラウドサービス、ガソリンスタンド向けの受託計算サービス、およびメーリングサービスの3つで構成されております。

向かって左下の円グラフをご覧ください。情報処理サービスの売上高の構成を示しております。2024年3月期売上高は、データセンター・クラウドサービスが81億7,000万円となり、情報処理サービスの55%を占めております。

以下同様に、ガソリンスタンド向けの受託計算サービスが43億4,700万円で29%、メーリングサービスが22億8,700万円で、16%となりました。

向かって右上の棒グラフをご覧ください。情報処理サービスの売上高の増減要因について記載しております。当期は3つのサービス全てで増収を確保しております。

向かって右下の棒グラフをご覧ください。情報処理サービスの売上総利益の増減要因について、サービス別に記載しております。データセンター・クラウドサービスにおいて、原価抑制とサービス価格の見直しをしたことにより、売上総利益は前期比7億円の増加となりました。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS  
 Asia's Meetings, Globally

受託計算サービスは、新しいガソリンスタンド向けのお客が増えている一方、自社システムへの追加投資に伴う償却負担が増しております。ミーリングサービスは好調に推移しており、前期比で増益を確保しております。

---

#### サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptasia.com





## サービス別売上高の推移



### 情報処理サービス

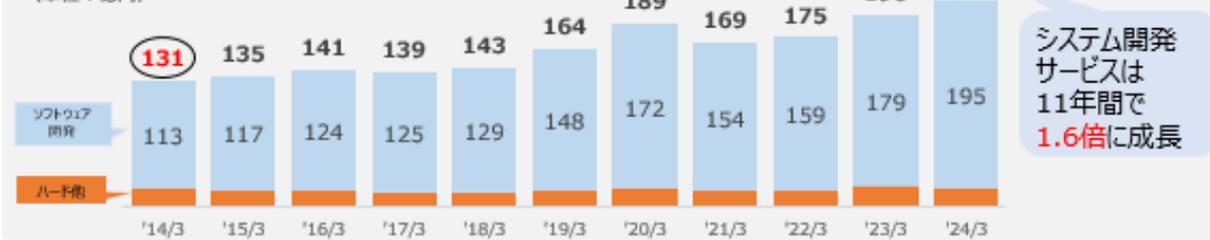
(単位：億円)

注) 金額は億円未満四捨五入、内訳合計と合計額が合わないことがあります。倍率は小数第2位以下切り捨て。



### システム開発サービス

(単位：億円)



©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

9

以上、これまでご説明いたしました当社の2つの主要サービスの過去11年間の売上高の推移についてご説明いたします。

当社は、ストック型の情報処理サービスから景気に左右されにくく、安定的な収益を生み出す一方で、フロー型のシステム開発サービスが景気の波を取り込む形で収益を上乗せすることで、増収基調を維持してまいりました。

ストック型ビジネスとフロー型ビジネスからの収益が相互に補完しつつ、バランスを取り合うことで、全体の収益を生み出しております。

まずは情報処理サービスについてご説明いたします。

この11年間一貫して増収基調を維持してまいりました。データセンター・クラウドサービスの伸びが著しく、同サービスの2024年3月期の売上高は、11年前と比較して約2.8倍となっております。

続いて、システム開発サービスについてご説明いたします。

この11年間、社会の動きに業績が左右されながらも、増収基調を維持してまいりました。2024年3月には2期連続で過去最高となる売上高213億円となっております。

私からは以上でございます。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 2025年3月期業績予想



売上高40,420百万円、営業利益は3,250百万円、当期純利益2,625百万円と予想  
 投資有価証券売却による当期純利益への押上効果：前期約2.0億円、当期約4.5億円

(単位：百万円)	2024年3月期 前期実績	2025年3月期 当期予想	前期比増減率
売上高	37,763	40,420	7.0%
営業利益	2,887	3,250	12.6%
経常利益	2,935	3,225	9.9%
新会社株主に帰属する 当期純利益	2,197	2,625	19.4%
営業利益率	7.6%	8.0%	+0.4ポイント
経常利益率	7.8%	8.0%	+0.2ポイント
当期純利益率	5.8%	6.5%	+0.7ポイント

©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

(注) 金額は百万円未満を四捨五入。前期比増減率は小数第2位で四捨五入。

10

**佐伯**：続きまして、2025年3月期業績予想について、ご説明いたします。

売上高は404億2,000万円、前期比7%増。営業利益は32億5,000万円、前期比12.6%増。経常利益は32億2,500万円、前期比9.9%増。当期純利益は26億2,500万円、前期比19.4%増を見込んでおります。

引き続き、企業を取り巻く経済環境は厳しい状況ではございますが、この業績予想を達成できるよう、グループ一丸となり、努力してまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 株主還元



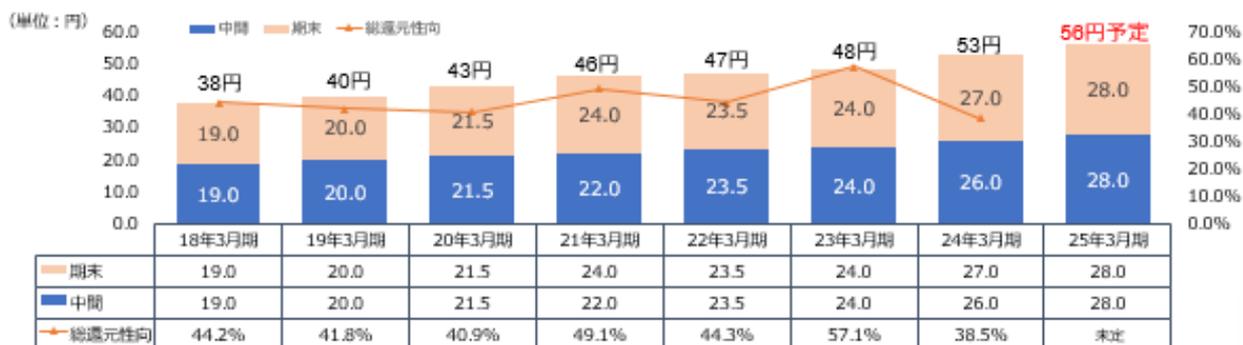
2024年3月末配当金：1株当たり配当額27円（年間配当額53円）  
1株当たり年間配当金は、12期連続増配を達成。

### 2025年3月期 年間配当金額の予定

**1株当たり年間配当金56円、前期比で3円増 13期連続増配を目指す**

#### 株主還元方針

「総還元性向40%以上を目処、安定的な配当を継続して実施すると共に、内部留保に努めて、今後発生する資金需要などへの対応を図る」



©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

11

次は、株主還元についてご説明申し上げます。

当社の株主還元方針は、安定的な配当を継続して実施するとともに、内部留保に努め、今後発生する資金需要などへの対応を図ることです。これを実現するために、新たに総還元性向 40%以上を目処として、努力してまいります。

2024年3月期の配当金は、年間で1株53円となりました。12期連続で増配を実現しました。2025年3月期の配当金につきましては、通期合計で前期比3円増額の1株56円を見込んでおります。安定した配当の実施に心がけて、13期連続の増配を目指していく所存でございます。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 2024年3月期業績



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期		前期比		予想対比 (2023年5月9日閉市)	
	金額	売上対比	金額	売上対比	増減額	増減率	増減	達成率
売上高	34,988	100.0%	37,763	100.0%	2,774	7.9%	63	100%
売上原価	27,814	79.5%	29,515	78.2%	1,700	6.1%	--	--
売上総利益	7,174	20.5%	8,248	21.8%	1,073	15.0%	--	--
販管費	5,044	14.4%	5,360	14.2%	315	6.3%	--	--
営業利益	2,129	6.1%	2,887	7.6%	758	35.6%	137	105%
経常利益	2,175	6.2%	2,935	7.8%	760	34.9%	35	102%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,343	3.8%	2,197	5.8%	854	63.6%	177	109%

(注) 金額は百万円未満切り捨て、売上対比、増減率は小数第2位まで四捨五入、達成率は小数点以下四捨五入。

©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

12

ここからは参考資料であります。

2024年3月期の業績をまとめたものです。期初予想への達成度合を示しております。実績は全て期初の予想を上回ることができました。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 2024年3月期四半期業績



(単位：百万円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	金額	売上対比	金額	売上対比	金額	売上対比	金額	売上対比
売上高	9,184	100.0%	9,795	100.0%	9,234	100.0%	9,550	100.0%
売上原価	7,155	77.9%	7,594	78.6%	7,255	78.6%	7,511	78.6%
売上総利益	2,028	22.1%	2,201	21.4%	1,980	21.4%	2,039	21.4%
販管費	1,371	14.9%	1,282	14.3%	1,322	14.3%	1,385	14.5%
営業利益	657	7.2%	918	7.1%	658	7.1%	654	6.8%
経常利益	702	7.6%	898	7.5%	691	7.5%	644	6.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	438	4.8%	603	5.0%	460	5.0%	696	7.3%

注) 金額は百万円未満の切捨て、売上対比は小数第2位まで四捨五入。

©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

13

2024年3月期の四半期ベースの業績推移です。第3四半期までは好調に推移してきましたが、第4四半期では、利益が伸びませんでした。ご説明申し上げたように、システム開発案件で遅れが発生したことによるものです。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



16

## 2024年3月期通期サービス別業績



(単位：百万円)		2023年3月期		2024年3月期		前期比	
		金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
情報処理サービス	売上高	13,749	--	14,805	--	1,056	7.7%
	売上総利益	2,381	17%	3,169	21%	787	33.1%
	営業利益*	245	2%	979	7%	733	298.4%
システム開発サービス	売上高	19,806	--	21,340	--	1,533	7.7%
	売上総利益	4,548	23%	4,700	22%	152	3.3%
	営業利益*	1,855	9%	1,755	8%	△100	△5.4%
システム機器販売	売上高	1,432	--	1,617	--	184	12.9%
	売上総利益	243	17%	378	23%	134	55.0%
	営業利益*	28	2%	153	9%	124	441.9%
合計	売上高	34,988	--	37,763	--	2,774	7.9%
	売上総利益	7,174	21%	8,248	22%	1,073	15.0%
	営業利益*	2,129	6%	2,887	8%	758	35.6%

(\*) 営業利益は概算で算出した参考値です。

注) 金額は百万円未満切り捨て、利益率は小数点以下、増減率は小数第2位まで四捨五入。

©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

14

サービス別の実績です。

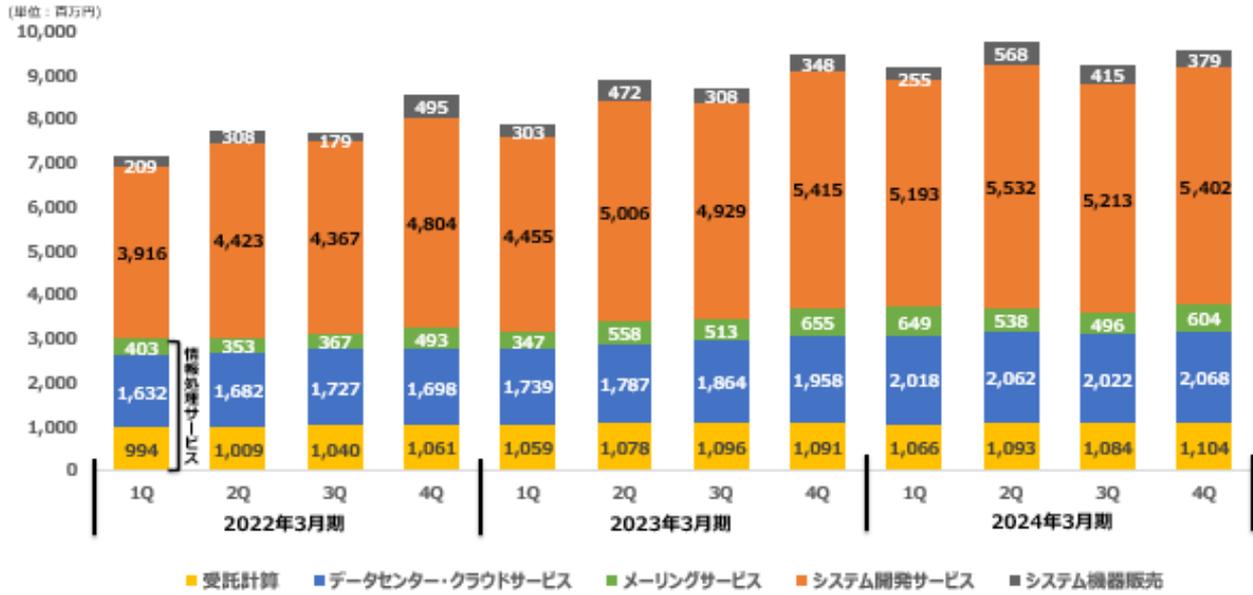
参考値として、各サービスの営業利益を算出して記載しております。誠に遺憾ながら、システム開発サービスにおいて、営業利益が前期比マイナスとなってしまいました。これもシステム開発案件で遅れが発生したことによるものでございます。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 四半期サービス区別売上高の推移



©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

(注) 金額は百万円未満切捨て、合計が一致しないことがあります。

15

当社のサービス区別の四半期売上高の推移となります。

青色のデータセンター・クラウドサービスが順調に成長していることがおわかりいただけると思います。

## サポート

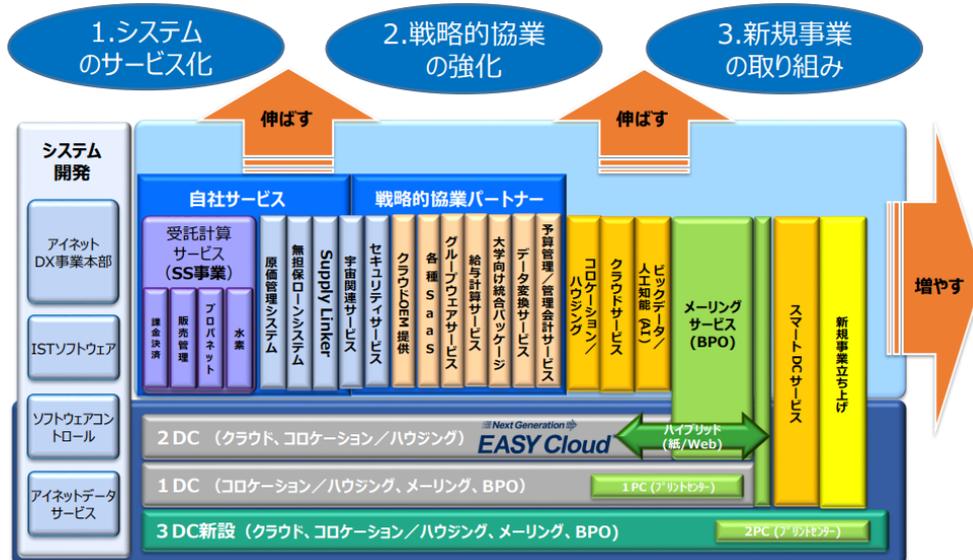
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



# 事業戦略について：「プラットフォーム戦略」



社会が如何に変わろうとも、当社グループは変化に合わせた形で、プラットフォーム上のサービス・パートナーを**伸ばし**、**増やす**ことで成長する



©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

16

ここからは、当社の事業戦略についてご説明いたします。

ご案内の図は、当社グループの事業戦略を表したものであります。

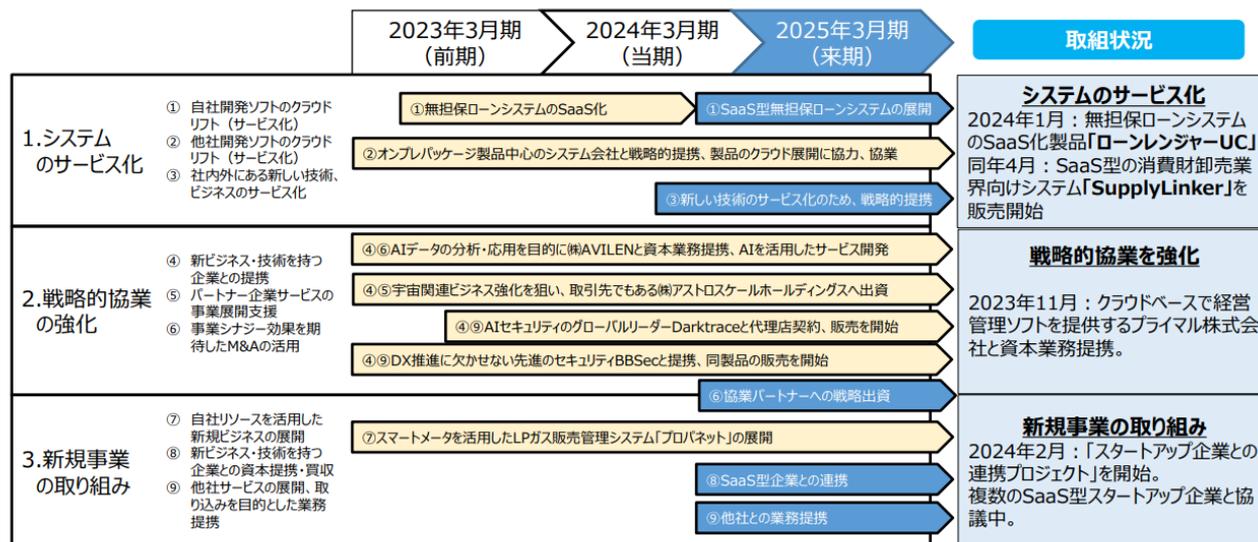
当社は、データセンターを中心とするプラットフォーム戦略をもとに、事業の展開を進めております。これまでも当社グループは、提供するサービスを進化させることで成長を続けてまいりました。これからも社会の変化に合わせ、プラットフォーム上のサービスやパートナーを伸ばし、増やすことで、さらに成長を続けてまいります。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



# 事業戦略について：「3本の矢」の推進



©2024 I-NET Corp. All Rights Reserved

17

プラットフォーム戦略を実現するため、3つの戦術を推進してまいりました。

自社開発システムのサービス化、戦略的協業パートナーの強化、新規事業の取り組みであります。自社開発システムのサービス化については、当社の無担保ローンシステム「ローンレンジャー」をSaaS化した「ローンレンジャーUC」をこの1月にリリースしております。現在、複数の金融機関様や事業会社様とお話を進めております。

戦略的協業パートナーの強化について、昨年11月に、クラウドベースで経営管理ソフトBizForecastを提供するプライマル株式会社と資本業務提携をいたしました。当社でもBizForecastを取り扱い、販売に協力していく方針です。

新規事業の取り組みについて、2024年2月にスタートアップ企業との連携プロジェクトを開始しました。新しい技術やサービスを提供する企業と連携することで、当社のプラットフォームを強化してまいります。現在、複数の企業様と協議中であります。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 事業戦略について：「第3データセンター」新設に向けて



### データセンター新設を検討している理由

- 1) 旺盛な需要への対応  
既存センターの稼働が高まっている状況
- 2) 最新技術への対応  
GPUサーバーなどの生成AI向け高機能サーバー導入対応

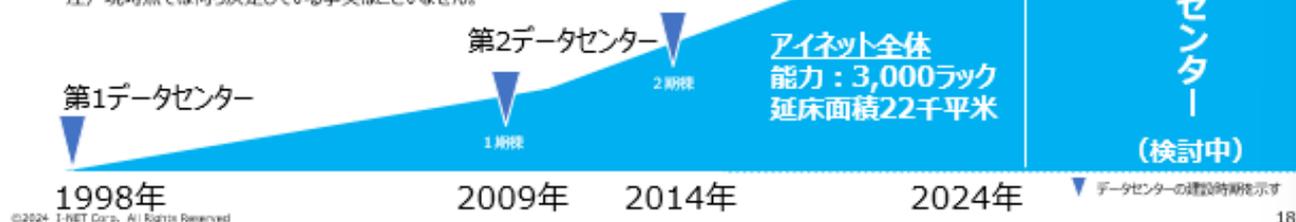


第2データセンター

### 現時点での検討状況

- 1) 複数の候補地が存在
- 2) 賃借、M&A活用も視野
- 3) BPOセンターの活用

注) 現時点では何ら決定している事実はありません。



18

ここでは、当社事業戦略の根幹であるデータセンター新設に向けた動きについてご説明いたします。

当社は、1998年に第1データセンターを建設し、データセンター事業に参入いたしました。以後、現在まで2ヶ所、4棟、延べ床面積2万2,000平米、3,000ラックを提供するまでに至りました。

ここ数年間、複数の候補地の中から第3データセンターの建設を検討しております。既存のデータセンターは9割近い稼働率に達しております。

生成AIの向上もあり、新しいデータセンター建設が経営の最重要課題と心得ております。近い将来には新たなデータセンター建設を実現したいと考えております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



### 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同を表明 2040年までにカーボンニュートラルを実現

アイネットグループは、地球環境問題への真摯な取り組みの一環として、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同を表明し、2040年度までに、アイネットグループのバリューチェーン全体における温室効果ガス排出量ゼロの実現を目指します。その第一歩として、当社のデータセンターで使用する電力の一部を再生可能エネルギー由来のものに切り替えています。2030年度までに、アイネットグループによる温室効果ガスの排出量（Scope1,2相当）を2022年度対比で50%以上の削減を実現する見込みです。



### TCFDコンソーシアムへの参画

アイネットは、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言へ賛同している企業や金融機関等が議論する場であるTCFDコンソーシアムに2023年9月に参画いたしました。本コンソーシアムへの参画を通じ、気候変動がもたらす事業へのリスクと機会について分析と対応を強化するとともに、関連情報の開示を行ってまいります。



※アイネットグループは地球環境問題への真摯な取り組みの一環として、2023年8月に気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言へ賛同しています。



続きまして、当社グループの環境への取り組みについてご説明いたします。

当社グループは、TCFD 提言への賛同を表明し、2040年までにバリューチェーン全体における温室効果ガス排出量ゼロを目指しております。また、2030年度までに当社のデータセンターで使用する電力を再生可能エネルギー由来のものに切り替え、温室効果ガスの排出量を2022年度対比で50%以上の削減を実現する見込みです。

当社は、2023年9月からTCFDコンソーシアムに参加いたしました。気候変動がもたらす事業へのリスクと機会について分析と対応を強化するとともに、情報の開示を行ってまいります。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

### 神奈川県が進める医療的ケアが必要な子どもなどを対象とした映画鑑賞会「ともいきシネマ」へ協賛

2023年12月27日、神奈川県の主催により、「ともいきシネマ」が開催され、当社も協賛しました。

医療的ケア児をお持ちのご家族からの「映画館で映画を見せてあげたい。それが私の夢なんです」この一言をきっかけに実現した取り組みです。本取り組みを支援するために、当社からは参加者の皆様へ、ささやかながら「ブランケット」を提供させていただきました。



### 子供データセンター見学会

当社は、将来を担う子ども達にITに興味を持ってもらうことを目的として夏休みイベントで子供データセンター見学会を開催いたしました。今回の取り組みの一環として、データセンターを紹介した子供向け漫画パンフレットの配布に加え、小学生の親子に向けたデータセンター見学会を自社データセンターにて開催しました。



次は、当社の社会貢献についてご説明いたします。

当社は、神奈川県が進める医療的ケアが必要な子どもたちを対象とした映画鑑賞会「ともいきシネマ」への協賛をいたしました。本取り組みを支援するために、当社からは参加者の皆様へささやかながらブランケットを提供させていただきました。

また、夏休みのイベントとして、子ども向けにデータセンター見学会を開催いたしました。将来を担う子供たちに、ITに興味を持ってもらうことを目的としており、参加した方々には大変好評でありました。今後もこのような見学会を開催していきたいと思っております。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 情報技術で*Enjoy Life*を応援します

### <免責事項>

- 本資料は、当社グループの業績及びグループの事業戦略に関する情報提供を目的としたものであり、当社及び当社グループの株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載しています。これらの情報は資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- 本資料を利用した結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料を無断で複製、転載等を行わないようお願いいたします。



visit our website

### <問合せ先>

株式会社アイネット経営戦略・IR部  
TEL 045-682-0806  
E-Mail [contact\\_ir@inet.co.jp](mailto:contact_ir@inet.co.jp)

以上であります。

2024年3月期業績に関するご説明となります。ご清聴、誠にありがとうございました。

**司会**：佐伯社長、内田専務、ありがとうございました。決算説明は以上となります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス [support@scriptasia.com](mailto:support@scriptasia.com)

## 質疑応答

---

司会 [M]：これより、質疑応答に移らせていただきます。質問はございますでしょうか？

ないようですので、これにて本日の決算説明会を閉会とさせていただきます。

決算説明会終了後にご質問がある場合は、スライドの一番後ろのページにあります連絡先までご連絡ください。

なお、本日の模様は、後日アーカイブを当社ホームページにて公開いたします。

本日はお忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございました。

[了]

---

### 脚注

1. 音声が不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

